



芦安中学校だより

第 8 号

校 長

2023. 12. 8

「立会演説会」

12月1日（金）の6校時に、新しい生徒会役員選挙があり、「立会演説会」では立候補者2名の演説が行われました。生徒の絆や積極性、学習について堂々とした口調で学校に対する思いを語りました。会長候補からは「Evolution」（進化）をテーマに尽力したいという熱意もみることができました。演説の後には3年生から質問や意見も出されました。後輩へ期待を込めた道筋をつけるかのように温かい雰囲気となりました。



小笠原流礼法

11月30日（木）に小笠原流礼法の授業が行われました。小笠原流礼法は、室町時代に将軍・足利義満に仕えた今川氏頼・伊勢憲忠・小笠原長秀の3氏によって完成された武家の礼法（室町礼法）が元となっており、それぞれの家系で今川流・伊勢流・小笠原流として伝えられた礼法のうちの一つです。

南アルプス市では、平成25年度から、市内の全ての公立小中学校で「小笠原流礼法」を児童生徒が学べるようにしました。礼儀作法を学ぶことで、人間性を高め、品格の向上を目的としています。相手を思いやる心、慎みの心、助け合う心といった

「心」と、挨拶の仕方、食事の仕方、歩き方などといった「形」があいまって礼法は成り立つということを学び、社会で活躍するにふさわしい人間としての「心」と「形」を身に付けることができます。



輪かんじきづくり

11月21日（火）に輪かんじきづくりを3年生が行いました。10月に曲げた2本の枝を組み合わせて完成することができました。輪かんじきは、大正から昭和初期、芦安地区で登山案内人の冬場の仕事として盛んに作られました。品質が高く、ヨーロッパにも輸出されていたそうです。芦安地域の優れた工芸品として、作り方を体験できたことはとても貴重な経験となりました。



研究授業(小中合同校内研究会)

11月10日（金）に1年生で英語の研究授業が行われました。「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して～個に応じた授業づくりを通して～という研究テーマのもと、小中学校の先生方が合同で研究を進めています。今回は中島先生が授業を行いました。小学校3年生から英語を学ぶようになり、中学校でもこれまでよりも進んだ学習内容になってきています。そして小学校で学んだことを中学校でどのように生かしていくのか、より小中での連携が必要となります。今回は発音とスペルについて確認したり、生徒が調べたことを英語で発表したりする授業で、その様子を小中のすべての先生で参観をしました。1年生はそんな中でも物怖じすることなく、これまでの学習の成果を十分に発揮していました。



花植え作業

11月22日（水）にビオラを植える作業を行いました。1学期にはマリーゴールドを植えました。これは南アルプス市の都市計画課が、「未来の子どもたちに伝える花と緑のふるさとづくり」のもと、公共施設等に花を増やす事業をしています。寒い時期ですが、玄関が明るくなりました。



11/22 花植え作業



11/14 焼き芋集会



11/21 小学生学習サポート

